



夏休みが終わりました。今年はいつもの夏休みと違って、各ご家庭でいろいろと工夫して過ごされたのではないのでしょうか？

9月はまだまだ残暑が厳しいです。引き続き熱中症や感染症の予防対策をしながら、早く学校生活に慣れていきましょう。



校医検診・その他検査が始まります！

9月から学校医による検診や各検査が始まります。健康診断では体の成長や病気がないかを調べます。下表のような計画になっていますが、やむを得ず変更する場合があります。健康診断のある日は、なるべくお休みしないようにお願いします。

結果は、検診が全て終了しましたら一覧表にてお知らせしますが、もし異常があったときには、その都度お知らせします。

検診日	項目	対象者
未定	胸部エックス線検査	高1、
9/2	水 内科検診 小6中3高3 修学旅行事前検診兼ねる)	小1、小6、中3、高等部
9/8	火 眼科検診	全学年
9/9	水 尿検査①(1次)	全学年
	ぎょう虫卵検査	小1
9/10	木 尿検査②(1次)	全学年
	ぎょう虫卵検査	小1
9/17	木 歯科検診	高等部

検診日	項目	対象者
9/18	金 尿検査③(1次・2次)	未提出者・1次有所見者
9/30	水 尿検査④(1次・2次)	未提出者・1次有所見者
10/1	木 歯科検診	中学部
10/2	金 精神科健康相談	児童生徒希望者
10/22	木 歯科検診	小学部
10/28	水 心電図検査	小1、小4、中1、高1 昨年未実施者
10/29	木 耳鼻科検診	全学年
11/10	火 内科検診	小2～5年、中1、中2
11/20	金 精神科健康相談	児童生徒希望者

朝の健康観察をお願いします

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、毎日の健康観察表の記入に御協力いただき感謝申し上げます。

引き続き朝夕の体温と、かぜ症状の有無を記入して、登校時に持たせてください。発熱やかぜ等の症状が続く場合は学校までお知らせください。

久しぶりの登校になりますので、ご家庭で、睡眠、食欲、排便の様子や表情、体調をみていただき、気になることがありましたら、どんなことでも担任までお知らせください。よろしく願いいたします。

★胸部X線検査の日程は、決まりしだいお伝えします

お世話になる学校医の先生方です

内科：阿部啓次郎先生（あべこどもクリニック）

眼科：阿部恵子先生（めぐみ眼科）

耳鼻科：沼田 勉先生（三浦耳鼻咽喉科）

精神科：青嵩和宏先生（ワコウクリニック）

歯科：栗飯原靖司先生（あいはら歯科医院）

薬剤師：小澤悦代先生（小澤薬局）



（裏面もあります→）

《出席停止について》

学校は児童生徒の集団の場であり、感染症が流行しやすい場でもあります。学校において予防すべき感染症が学校保健安全法に定められており、これらの感染症にかかったときは「出席停止」になります。

- ① 感染症にかかったとき…病名といつまで学校をお休みするかを必ず医師に確認し、担任へお知らせください。医師の指示に従って、自宅で静養してください。
- ② 感染症が治ったとき……登校する際は、「登校確認書」が必要です。医師に登校許可を得た後、保護者が登校確認書を記入してください。登校確認書は本校ホームページからダウンロードしていただけます。または学校から郵送またはファックスで送付します。

(表) 学校において予防すべき感染症

	対象疾病	出席停止期間
第1種	エボラ出血熱　クリミア・コンゴ出血熱　痘そう 南米出血熱　ペスト　マールブルグ病　ラッサ熱 急性灰白髄炎（ポリオ）　ジフテリア 重症急性呼吸器症候群（SARS）　中東呼吸器症候群（MERS） 特定鳥インフルエンザ	治癒するまで
第2種	インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現したあと5日間を経過し、かつ全身状態が良好となるまで
	風疹（3日ばしか）	発疹が消失するまで
	水痘（みずぼうそう）	全ての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	結核	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	
第3種	コレラ　細菌性赤痢　腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス　パラチフス 流行性角結膜炎　急性出血性結膜炎	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
	その他の感染症	【主な病名】　マイコプラズマ感染症 溶連菌感染症　ウイルス性肝炎 手足口病　伝染性紅斑（リンゴ病） ヘルパンギーナ　感染性胃腸炎　など 主治医の指示による

*第1種感染症には、上記の他、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症が加わっており、新型コロナウイルス感染症も第1種に入ります。